

公益財団法人食生活研究会 2021年度事業報告

1. 公益目的事業

2021年度事業は、2021年3月3日第92回定時理事会で決議された研究助成、講演会および海外からの留学生支援を行った。

1) 研究助成

研究者に対する研究助成は自然科学系9件、人文社会科学系3件、文理融合的テーマ1件の計13件（1,250万円）、および研究機関に対する補助3件（150万円）の合計16件（1,400万円）の助成をおこなった。その詳細は以下のとおり。

① 研究助成 13件

No	氏名	機関名	研究テーマ
自然科学系			
1	大石 基	筑波大学数理物質系物質工学域 准教授	酵素および装置フリーな検出法に基づく新奇「その場」食品細菌検査法の開発
2	太田 康晴	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座 准教授	糖の流れの朝晩の違いとそのメカニズムの解明
3	岡田 晋治	東京大学大学院農学生命科学研究科食品機能学 付講座 特任准教授	食による多嚢胞性卵巣症候群の予防・改善
4	田中 沙智	信州大学農学部農学生命科学科食品免疫機能学研究室 准教授	免疫体質を改善する発酵食品と感染症予防への応用に関する研究
5	田原 優	早稲田大学理工学術院 准教授	食事管理アプリを用いた時間栄養学のリバーストランスレーショナル研究
6	戸田 雅子	東北大学大学院・農学研究科・食品化学分野 教授	自然免疫記憶を誘導する穀物成分の探索とその機構解析
7	宮本 潤基	東京農工大学 大学院農学研究院 テニュアトラック准教授（独立PI）	新規機能性脂肪酸のエネルギー代謝調節に及ぼす影響
8	山崎 正幸	龍谷大学 農学部 食品栄養学科 教授	ウルトラファインバブル水を用いた調理の可能性:食品のアレルギー性低減を目的として

9	山田 朋英	東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科 登録研究員（兼 英国キングスレッジ ロンドン客員教授）	人工知能を用いた食生活の健康効果の検証とヘルスケアの個別化の実現化
人文社会科学系			
1	加藤 孝治	日本大学大学院 総合社会情報研究科 教授	日本人の食品消費の将来予測とそれに伴う食品サービス企業の行動変化について
2	坂下 玄哲	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授	COVID-19 パンデミック下における消費者の外出行動に関する実証研究
3	長谷 和久	神戸学院大学 心理学部 心理学科 講師	従来の 2 因子モデル（恐ろしさ・未知性因子）で説明できない食品リスク認知を司る特有の要因の明確化
文理融合的テーマ			
1	佐々木 敏	東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野 教授	コロナ禍休校時とその後の学童における家庭内食環境と食習慣の変化に関する研究（追跡研究）

② その他研究補助 3 件

No	氏名	機関名	研究テーマ
1	佐々木 敏	東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野 教授	栄養疫学研究ならびに食事指導・食育等への利用を目的とした汎用型食事調査ならびに食事指導システム（簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）システム）の開発・利用サービス・利用者教育等の推進に関する研究
2	堤 伸浩	東京大学大学院農学生命科学研究科研究科長・教授	農学の社会的価値の創造を目指す産学官民連携型農学研究・教育体制の再検討
3	三浦 浩喜	福島大学 学長	食農学類を中心として福島の農業の再生・復興を目指すとともに食の安全・安心への貢献をはじめ日本の農業の将来を担う人材を育成

2) 講演会

第29回講演会は2021年9月8日(水)午後、クラブ関東大ホールにおいて「食と健康」を主テーマに開催した。

第一部で2020年度に研究助成をおこなった中から、峯尾 圭 近畿大学経営学部商学科 特任講師、東田 一彦 滋賀県立大学人間文化学部生活栄養学科 准教授がそれぞれ研究報告・活動報告の発表を行い、第二部で、辻 典子 十文字学園女子大学人間生活学部食品開発学科 教授、日本大学医学部病態病理学系微生物分野 教授が、「腸における共生と食による免疫機能の発達」について講演した。

なお、2020年度に引き続いて新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会場参加者数を絞り、代わりにオンラインにて同時配信を行った。その結果、会場7名、オンライン244名、合計251名の参加者となり、盛況の内に終了した。

3) 留学生支援事業

2021年度はリー イー ティンさん(東京大学大学院在籍、女性、出身国：台湾)、ドテイテュイ クインさん(お茶の水女子大学大学院在籍、女性、出身国：ベトナム)、エリザ カテロ アキノさん(東京農業大学大学院在籍、女性、出身国：フィリピン)、ファウジア ノビアンティさん(東京農工大学大学院在籍、女性、出身国：インドネシア)、レ クァン チュンさん(横浜国立大学大学院在籍、男性、出身国：ベトナム)の5名に各々奨学金100万円を支給した。

奨学生は下記の行事に参加し、日本の食生活等に関して知見を深めた。

- ・当財団主催第29回講演会(参加留学生による挨拶実施)

(2021年9月8日)

- ・日清製粉グループ「製粉ミュージアム」オンライン見学会

(2021年11月25日)

2. その他

1) フードコミュニケーション講演会開催支援

フードコミュニケーション懇話会が開催した「フードコミュニケーション講演会」開催費用2回分2,199,899円(2021年11月実施分971,327円、2022年2月実施分1,228,578円)を寄付した。講演会の内容は以下のとおり。

日時 : 2021年11月17日(水) 午前10:45~12:00

講師 : 松尾 真紀子 先生(東京大学公共政策大学院

・未来ビジョン研究センター 特任准教授)

場所 : 会場(KKRホテルTOKYO)、オンライン配信実施

テーマ:「食品分野における新しい技術(フードテック)の社会導入におけるガバナンス上の課題」

日時 : 2022年2月16日(水) 午前10:45~12:00
講師 : 高橋 久仁子 氏 群馬大学名誉教授
場所 : 会場(学会館)、オンライン配信実施
テーマ : 「食生活における健康関連食情報を考える」

2) 人道支援・災害復興支援 他

以下の寄付を行った。

(1) 寄付先 : 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
指定使途 : 「緊急チーム」募金
寄付額 : 300,000円
実施日 : 2022年3月15日

(2) 寄付先 : 福島県
指定使途 : 東日本大震災ふくしま子ども寄付金
寄付額 : 300,000円
実施日 : 2022年3月15日

(3) 寄付先 : 赤い羽根中央共同募金会
指定使途 : 災害ボランティア・NPO活動サポート募金
寄付額 : 300,000円
実施日 : 2022年3月15日

事業報告附属明細書

2021年度事業報告には「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。